

中國新聞

8月7日(水)

発行所
広島市中区土橋町7番1号

〒730-8677

中国新聞社

電話(082)236-2111(受付案内台)

郵便振替口座 01370-0-57

ホームページ
<http://www.chugoku-np.co.jp/>紙面へのご意見・ご要望は
読者広報部 082-236-2455

読者広報部 082-236-2455

核兵器は「絶対悪」

被爆68年式典

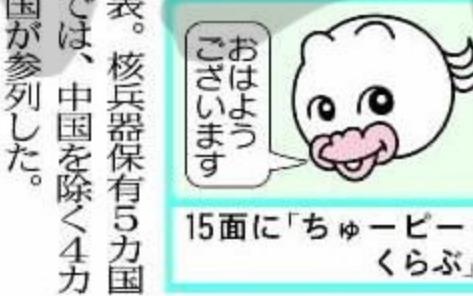
広島市は6日、中区の平和記念公園で原爆死没者慰靈式・平和祈念式(平和記念式典)を営んだ。米国による原爆投下から68年。式典には約5万人が参列し、被爆地は犠牲者の追悼と平和への願いに包まれた。松井一実市長は平和宣言で原爆を「絶対悪」と断じ、核兵器の非人道性を訴える国々と連携を強めるよう求めた。(下久保聖司)

式典は午前8時に始まり、松井市長と遺族代表2人が、原爆死没者名簿を原爆慰靈碑に納めた。この一年で亡くなったか、新たに死んだ(32)伊藤麟太郎君(11)中区が突く「平和の鐘」の音が響く中、参列者は「非人道兵器の極み」とあらためて否定。「被爆者の願いに応え、被爆兵器廃絶に取り組む原動力となる」と決意表明し、各国の指導者に基づく安全保障体制への転換」を要請した。

日本政府が核拡散防止条約(NPT)に未加盟の核兵器保有国印度と進める原子力協定交渉は、「核兵器を廃絶する」の声を合わせ、「さあ、一緒に平和をつくりましょう。大切なバトンをつなぐために」と呼び掛けた。各國来賓は70カ国と

平和宣言の骨子

- 「心身の傷や差別、偏見に苦しみながら復興を支えてきた被爆者の姿」をテーマに被爆者5人の体験談を引用。8月6日の惨状や、健康不安や風評被害などで苦しんだ被爆者の思いに言及する
- 核兵器は非人道兵器の極みであり、「絶対悪」と否定。平和市長会議の加盟都市や国連、非政府組織(NGO)などと連携し、2020年までの核兵器廃絶を目指す
- ヒロシマは日本国憲法が掲げる崇高な平和主義を体現し、人類の進歩べき道を示す地でもあると強調
- 政府が進めるインドとの原子力協定交渉に懸念を表明。広島原爆で定められた「黒い雨」の指定地域拡大を要請する
- 東日本大震災や原発事故に触れ、安全を最優先にし日本国民の暮らしと安全を最優先にしエネルギー政策の構築を訴える



きょうの紙面

0-10の回、丸が飛ぶ。投手陣が踏ん張り無失点リレー。投球受付中!
shinkai@chubee-club.jp
へ空メール送信!

17コイがサヨナラ勝ち

ブルネイでのTPP交渉で、日本との協議に応じない姿勢。

手陣が踏ん張り無失点リレー。

地場銀行が高齢化や税制改正に対応してサービスを拡充。

企業要望受け西風新都産業団地。

20のり面メガソーラー

原爆症認定集団訴訟で、原告が参列した。

被爆者健康手帳を持つ者は、中国を除く4力表。

核兵器保有5カ国では、中国を除く4力表。

核兵器保有5カ